

もっと、
患者様の近くへ。



クラウドで「つながる」、
未来の保険薬局向け調剤支援システム



調剤室での操作は、限りなく **ゼロ** に近づきます。

これまでの保険薬局向け調剤支援システムYUNiCOM-DSxをさらに進化させた、YUNiCOM-zero。調剤室での機器操作を自動化、もしくは非薬剤師の方にお任せできるようにすることで、変化するこれからの対人業務への時間創出を支援します。PAT.P

窓口



レセコンからYUNiCOM-zeroへ処方データを送信



YUNiCOM-zero上で薬剤師が処方監査・調剤設計・調製指示

調剤室



機器を自動で動作開始させたり、非薬剤師の方が機器操作したりすることも可能に!



▲処方展開画面

▲調剤設計画面

処方展開画面から、調剤設計メニューを開き下記の項目を設定。
機器側の作業は不要です!

- 印字レイアウト
- 印刷順序(連続/反復)
- 袋長
- ペン印字の有無

設定したのち「発行」ボタンをクリックするだけで、散薬分包機や錠剤分包機など、各種調剤機器に処方データを振り分けて送信します。

